

2025年6月から 建築物の バリアフリー 基準が 変わります!



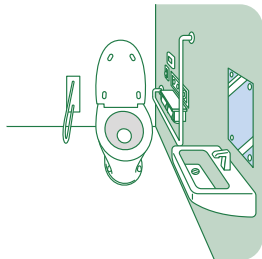
見直しを行う3つの基準

- 1 車椅子利用者用トイレの設置数
- 2 車椅子利用者用駐車施設の設置数
- 3 車椅子利用者用客席の設置数

詳細は裏面をご覧ください

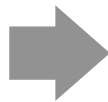
2025年6月1日以降に工事に着工する建築物が対象となります。

① 車椅子使用者用トイレの設置数



改正前

建築物に1以上

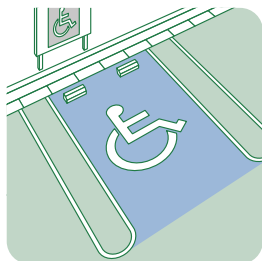


改正後

原則、各階に1以上

※床面積が1,000㎡未満の階、10,000㎡超の階については別途規定

② 車椅子使用者用駐車施設の設置数



改正前

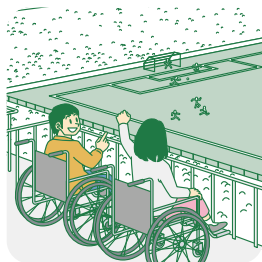
建築物に1以上



改正後

200台以下の駐車場
全体の2%以上
201台以上の駐車場
全体の1%+2以上

③ 車椅子使用者用客席の設置数



改正前

義務基準なし



改正後

400席以下の劇場等
2以上
401席以上の劇場等
全体の0.5%以上

※劇場等：劇場、観覧場、映画館若しくは演芸場又は集会場若しくは公会堂

車椅子使用者用トイレを設置した場合、容積率の特例の適用対象となります！

車椅子使用者用トイレの床面積の一部が不算入となります。

※特定行政庁の許可が必要となりますので、詳しくは特定行政庁にお問い合わせください。

改正内容に関する
詳細はこちら

建築物におけるバリアフリーについて

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/jutakukentiku_house_fr_000049.html

建築物 バリアフリー

